

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	リウマチ・アレルギー特別対策事業		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	リウマチ・アレルギー特別対策事業の実施について			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症等のリウマチ・アレルギー性疾患患者は国民の2人に1人に上ると言われており、患者数や国民の関心も高い重要な問題となっていることから、都道府県の実情に応じた各種事業を実施し、患者や家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①医療従事者向けの研修を実施し、専門医等の人材育成を行う。 ②一般国民向けに自己管理(セルフケア)の観点からのシンポジウム開催等リウマチ・アレルギー性疾患に関する正しい知識の啓発活動を実施し重症化防止を図る。 【補助率】1/2						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	12	7	7	6	6
		補正予算					
		繰越し等					
	計	12	7	7	6	6	
	執行額	1	2	2			
執行率(%)	8	28	28				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	事業実施によりリウマチ・アレルギー性疾患患者やその家族、ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を目的とする。			成果実績	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業実施自治体数			活動実績 (当初見込み)	3	3	4
				-	(12)	(12)	(12)
単位当たりコスト	500,000 (円/自治体)		算出根拠	2百万 / 4自治体 = 0.5百万			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	リウマチアレルギー特別対策事業費	6	6				
	計	6	6				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国民の2人に1人は何らかのアレルギー疾患に罹患しているとされており、広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	民間療法を含め膨大な情報が氾濫しており、国が確かな情報を発信する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—	—	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	自治体向け補助金として、支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は事業目的に即している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			△	自治体からの交付申請件数が少なかったため。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	自治体向け補助金として地域の実情にあわせた実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	事業実施自治体数については、自治体からの申請に左右される部分が多いため、件数の増加には至っていない。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—	—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度から補助先に政令指定都市、中核市も加え、対象を拡大したところであり、平成24年度においては、事業実施自治体数も若干ではあるが増加していることから、引き続き適切に事業を推進する。					
外部有識者の所見						
執行率が低いことから、地公体における事業実施状況を正確に把握し、事業推進を指導するなど事業を改善する必要がある。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	本経費については、恒常的に不用が生じている状況であるが、アレルギー専門医の育成や自己管理の観点からの国民向け啓発は、アレルギー対策上重要な課題であることから、より多くの自治体が事業を積極的に実施するよう働きかけるなど、事業推進に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	執行実績を踏まえ、25年度予算において予算の縮減を図ったところである。引き続き自治体における事業の実施状況の把握に努めるとともに、事業未実施の自治体に対しては、事業の実施を働きかけていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	160	平成23年	137	平成24年	110

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
2百万円

〔 交付申請書の内容審査、交付決定、等 〕



【補助】

都道府県(4)
2百万円
(内訳)
千葉県 0.7百万円
兵庫県 0.5百万円
岐阜県 0.3百万円
高知県 0.1百万円

- 〔
- ・医療従事者向けの研修の実施
 - ・国民向けの正しい知識の普及啓発事業の実施
 - ・研修やホームページを活用した診療ガイドラインの普及の実施
- 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉県	リウマチ・アレルギー特別対策事業	0.7		
2	兵庫県	〃	0.5		
3	岐阜県	〃	0.3		
4	高知県	〃	0.1		
5					
6					
7					
8					
9					
10					